

主題	身体拘束ゼロに対する取り組みと課題
副題	～1回目の発表からその後～

身体拘束	
------	--

研究期間	2ヶ月	事業所	特別養護老人ホーム 青陽園
------	-----	-----	---------------

発表者：戸上 笑子（とがみ しょうこ）	アドバイザー：
---------------------	---------

共同研究者：瀬古 祐介

電 話	042-654-4025	メール	
FAX	042-654-4086	URL	

今回発表の事業所やサービスの紹介	社会福祉法人東京玉葉会が母体となっている特別養護老人ホームです。昭和41年に開設し東京都では8番目、八王子市では最初にできました。長期入所140床・ショートステイ20床の施設です。今年と同法人内に長期90床・ショートステイ10床のユニットが開設されました。
------------------	---

《1. 研究前の状況と課題》

第1回アクティブ in 東京で「身体拘束ゼロ」を発表した。その際の今後の課題として「身体拘束を無くす」事を挙げていた。その後、入所前に身体拘束を行なっていたご利用者もいたが、環境整備や職員の対応方法などで身体拘束をしなくても生活ができる様な環境を作るよう努めていた。しかし、日々の生活の中で生じる怪我により入院された方が、受け入れる際に医師の強い希望・「再入院をしたくない」というご家族の希望があった為に、やむなく拘束をしなければならないケースがあった。

＜A氏＞大腿骨頸部骨折にて入院。

退院時に MRSA 感染あり、感染の拡大を防ぐ為、つなぎ服着用にて退院される。

＜B氏＞転倒による骨折にて入院。

入院中に食事意欲低下、経管栄養（鼻腔）、ミトン着用での退院となった。

課題として

- ・身体能力の低下を防ぐ
- ・利用者の「あるべき姿」を尊重する等が上がった。

《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

○研究の目標

身体拘束や、職員の関わり方を見直す事で利用者の「あるべき姿」を尊重し、尊厳を保持していく。

○期待する成果、目的

- ・利用者のあるべき姿を職員が理解する事で、身体拘束を減らす事が出来る。
- ・本人のストレス軽減。
- ・ADL の低下防止。

《3. 具体的な取り組みの内容》

＜A氏・B氏共通＞

○入所後は本人の生活状況の観察と代替え方法を検討する。

○定期的なカンファレンスを行なう。

○他職種との連携。

＜A氏＞

○ベッドセンサーを活用し、速やかに対応した。

○歩行時は可能な限り、職員が付き添う。

○排泄間隔の把握。

＜B氏＞

○手の動き等を細かく記録していた。

○経口摂取への試み。

○ミトンを外していく取り組み。

《4. 取り組みの結果と考察》

＜A氏＞

平成22年2月19日に退院。入院時、胸抑していたことにより起き上がりが出来なくなりました。園での生活の中でも介助での起き上がりに対して緊張・抵抗等があり職員2名での離床介助となった。全て居室対応であったが平成22年2月27日夕方より食堂で食事を召し上げる。平成22年3月31日MRSA（一）によりつなぎ服解除となった。

＜B氏＞

平成22年1月26日に退院。翌日より経口摂取への取り組み・離床時職員が目配り出来る場所でのミトン外しを進めた。

2月12日より食欲出てきて、自ら食事に関する訴えが出てきた。

自己摂取される事もあった。

経口摂取安定した事により平成22年2月22日、ミトン着用解除となった。

他職種との連携を図り、定期的なカンファレンスを行なう事で、意欲の向上につながる事が出来た。

活動的な生活を送る事ができ、本人、家族もとても喜ばれ、精神面の安定や職員に対する信頼が表情からも読み取れた。

《5. まとめ、結論》

現在は身体拘束ゼロではあるが、今回の研究の様なケースが今後も出てくると思います。

しかし、私達が出来る最大限の事を活かし、利用者と向き合う事で、身体拘束ゼロへ近づけ、ご利用者の笑顔に繋がり、また家族からの信頼にも繋がると思いました。

現在新規受け入れ時、身体拘束に関する施設の理念を家族に説明しています。御本人の身体状況、外した状態で生じる可能性の高い出来事を予測し受け入れ時のケアプランに反映させ対応を行なっています。

また現在、身体拘束に目を向けると共に、職員の言葉の拘束にも目を向けています。

園で過ごされているご利用者、1人1人がその人らしく生活出来るように「拘束」というものにより力を入れ取り組んで行きたい。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究発表を行うにあたり、ご本人（ご家族）に口頭にて確認をし、本研究発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

【メモ欄】